

4

室内装備品の使いかた

エアコン

吹き出し口の調整	4- 2
吹き出し口表示と使用目的	4- 3
マニュアルエアコン	4- 4
オートエアコン	4- 8

オーディオシステム

あらかじめ知っておいていただきたいこと	4- 14
AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー	4- 21
AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー	4- 28
AM/FMマルチ電子チューナー・CD・MDプレーヤー	4- 35
AM/FMマルチ電子チューナー・メモリーチェンジャー付CDプレーヤー (ウェルカムサウンド機能付)	4- 44

室内装備

室内の照明	4- 65
カップホルダー	4- 66
サンバイザー	4- 68
小物入れ	4- 69
サブトランク	4- 71
カーゴフック	4- 72
買い物フック	4- 72
電源ソケット	4- 73

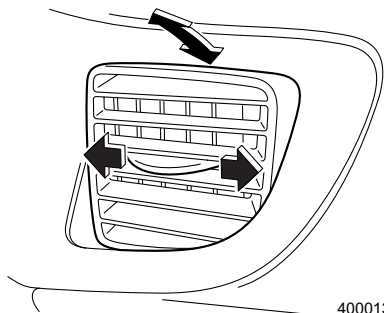
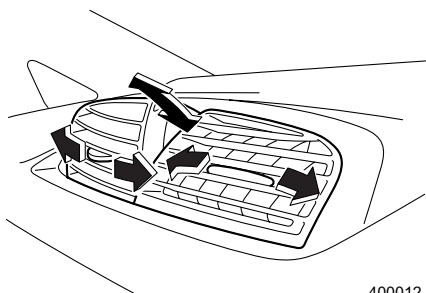
エアコン

吹き出し口の調整



●吹き出し口

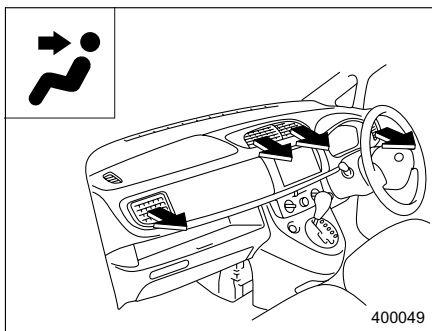
吹き出し口のノブを左右に、また、吹き出し口全体を上下に動かして風向きを調整します。



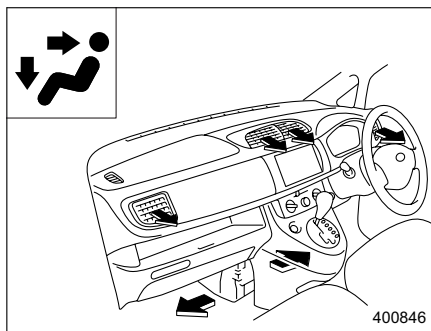
吹き出し口表示と使用目的

使用目的に合わせて吹き出し口を選択してください。

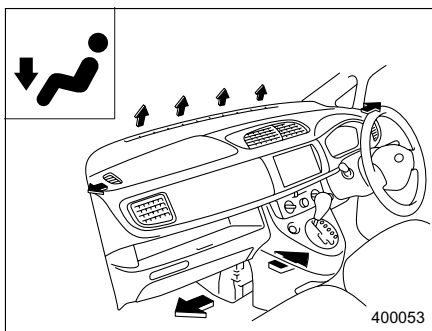
●上半身に送風したいとき



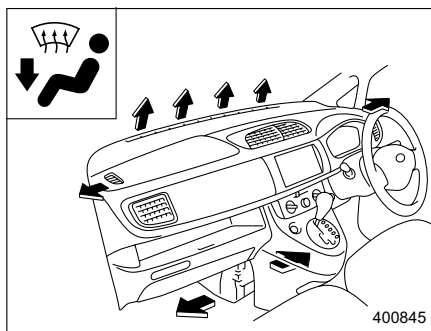
●上半身と足元に送風したいとき



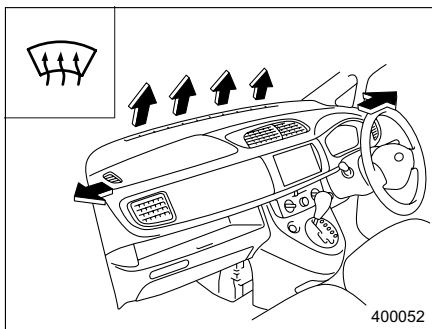
●足元に送風したいとき



●足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき

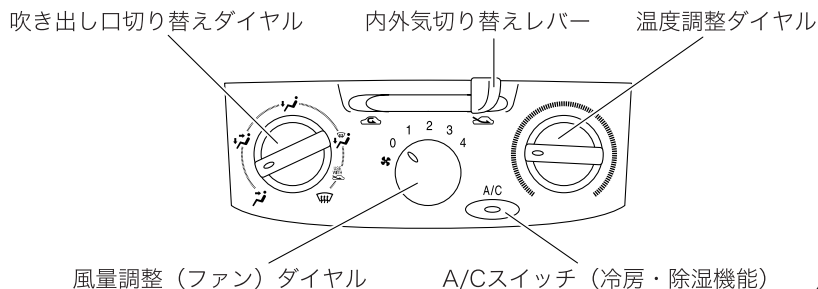


●窓ガラスの曇りを取りたいとき



室内装備品の使いかた

マニュアルエアコン



400965

■エアコンの使いかた

エンジンをかけているとき、風量調整 (ファン) ダイヤルを「0」以外の位置にすると作動します。冷房・除湿をするときは、さらにA/Cスイッチを押します。風量調整 (ファン) ダイヤルを「0」にすると止まります。



🏠 アドバイス

- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見ることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。i-CVT車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、冷房を使う前にウィンドウを全開にするなどして熱気を追い出してください。
- 室内のにおいが気になるときは消臭剤を使用して消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置に付いて、におうことがあります。
- 冷房中は乾燥ぎみとなり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。目が痛くなったときは外気を導入してください。
- 体が冷え過ぎないように適温に調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。
- 次の場合、冷房・除湿機能は作動しません。
 - － 室内の温度が低いとき
 - － 外気温度が低いとき (0°C以下のとき)

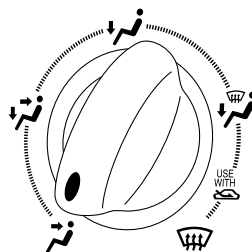
■操作パネルの使いかた

●吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。

は、使用時に外気導入に切り替えることをお奨めする表示です。


☆4-3ページ参照



400021

アドバイス

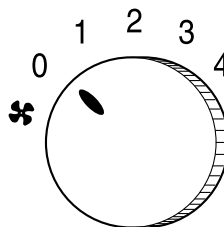
降雪時には

降雪時はフロントガラスの氷結を防止するため、で走行することをお奨めします。

●風量調整（ファン）ダイヤル



風量を4段階に調整できます。

数字が大きくなるほど強くなります。

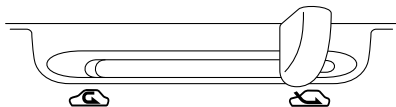


400016

●内外気切り替えレバー

レバーを  の位置に合わせると内気循環になり、 の位置に合わせると外気導入になります。

早く冷房したいとき、または、冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。



400025

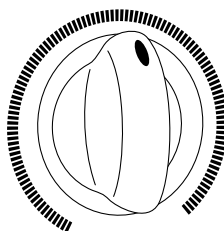
注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと、万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/Cスイッチを押して除湿機能を働かせて使用してください。

●温度調整ダイヤル

送風温度を調整します。

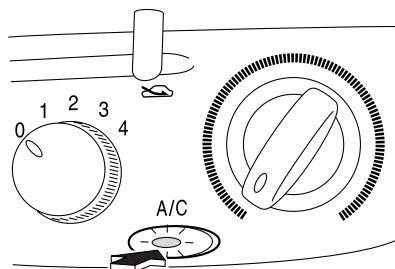
温度を上げるときは右へ、下げるときは左へ回します。



400022













●A/Cスイッチ

風量ダイヤルが「0」以外のとき、スイッチを押すと冷房・除湿機能が作動し、スイッチ内のランプが点灯します。もう一度押すと冷房・除湿機能は停止します。



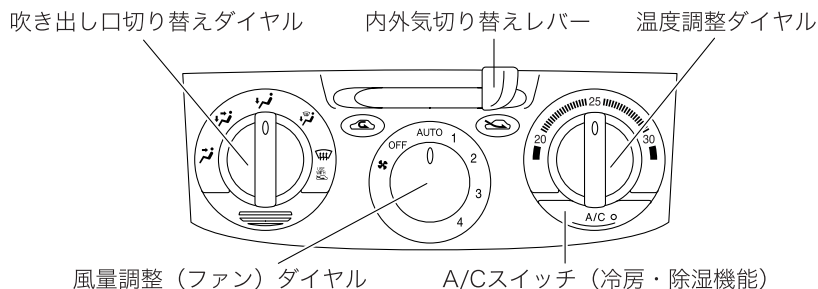
400015

■ マニュアルエアコンの使いかた

スイッチ	吹き出し口 切り替え	風量調整	A/C スイッチ	温度調整	内外気 切り替え	アドバイス
冷房		希望位置	ON	希望位置 (中間より左側)		<ul style="list-style-type: none"> 早く冷やしたいときは、内外気切り替えレバーを内気循環にしてください。 冷房の効きを高めたいときは、内気循環をお使いください。
暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間より右側)		<ul style="list-style-type: none"> ウィンドウにも少し送風されますが、これはウィンドウの曇りを防止するためのものです。 顔部が熱い場合は、温度調整ダイヤルを左側に動かし、適温に調整してください。
曇り除去と暖房		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルの位置によっては曇り除去機能が低下する場合があります。
頭寒足熱		希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルを右または左いっぱいにするとう頭寒足熱にはなりません。冷風または温風のための吹き出しになります。
曇り除去		希望位置	ON	中間より 右側		<ul style="list-style-type: none"> 夏期においてウィンドウの曇りを除去する場合、温度調整ダイヤルは中間より左側でご使用ください。 外気温度と吹き出し風の温度差が大きいと、ウィンドウの外側が曇る場合があります。このときは風量調整ダイヤルを「0」にするか、温度調整ダイヤルを右に動かしてください。
換気		希望位置	OFF	希望位置		

室内装備品の使いかた

オートエアコン



400966

■エアコンの使いかた

エンジンをかけているとき、風量調整（ファン）ダイヤルを「OFF」以外の位置にすると作動します。冷房・除湿をするときは、さらにA/Cスイッチを押します。風量調整（ファン）ダイヤルを「OFF」にすると止まります。

■オートでの使いかた

- ① 温度調整ダイヤルで希望温度に設定します。
- ② 吹き出し口切り替えダイヤルをお好みの位置に回します。
- ③ 風量調整（ファン）ダイヤルをAUTOに回します。
- ④ A/Cスイッチを押してONにします。



アドバイス


- エンジンがかかっているときにスイッチを操作してください。
- 冷房中に吹き出し口から白煙が出ているように見ることがあります。これは湿度の高い空気が急激に冷やされて起こる現象で、異常ではありません。
- 停車中の冷房効果を上げるため、アイドリング回転が高くなります。i-CVT車はクリーブ現象が強くなりますので、ブレーキを確実に踏んでください。
- 炎天下に駐車したときには、エアコンを使う前にウインドウを全開にするなどして熱気を追い出してください。
- 室内のにおいが気になるときには消臭剤を使用して消してください。空気が汚れているときや、タバコを吸うときは換気してください。ほこりやタバコの煙が冷房装置について、におうことがあります。
- 目が痛くなったときは外気を導入してください。冷房中は乾燥ぎみになり、タバコの煙で目が痛くなることがあります。



- 体が冷え過ぎないように適度に温度を調整してください。冷え過ぎは健康を損ないます。健康上、外気温度と室内温度の差は5～6℃が適当です。
- 冷房・除湿機能は各部を潤滑するためにも月に2、3回程度作動させてください。
- 冷えない場合、冷媒不足も考えられます。お近くのスバル販売店で点検を受けてください。
- 次の場合、冷房・除湿機能は作動しません。
 - － 室内の温度が低いとき
 - － 外気温度が低いとき（0℃以下のとき）

■ 操作パネルの使いかた

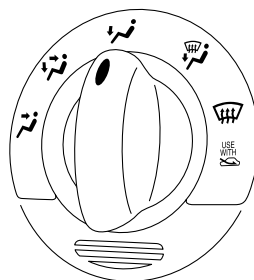
● 吹き出し口切り替えダイヤル

使用目的に合わせて吹き出し口を切り替えます。

ダイヤルを  にしたときは、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能（A/Cスイッチ）がONになります。

 は、 使用時に外気導入に切り替えることをお奨めする表示です。


☆4-3ページ参照



400018

アドバイス

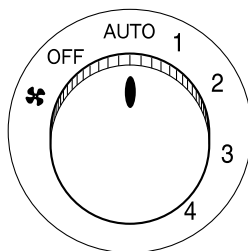
降雪時は

降雪時はフロントガラスの氷結を防止するため  で走行することをお奨めします。

●風量調整（ファン）ダイヤル



風量を調整し固定するときあるいはAUTOにしたいときに使います。

風量はAUTOを含め5段階に調整できます。

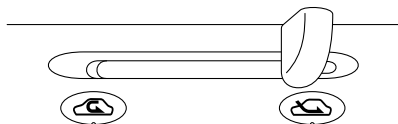


400019

●内外気切り替えレバー

一時的に外気を遮断したい場合に使います。レバーを  の位置に合わせると内気循環になり、 の位置に合わせると外気導入になります。

早く冷房したいとき、または冷房の効きを高めたいときには、内気循環をお使いください。



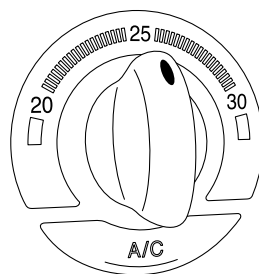
400024

注意

内気循環は必要なときだけ使い、通常は外気導入を使ってください。内気循環で長時間使うと、万一、排気管に腐食や損傷による穴や亀裂が生じた場合、排気ガスによる一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また、ガラスが曇りやすくなりますので、内気循環で使用する場合は、A/Cスイッチを押して除湿機能を働かせて使用してください。

●温度調整ダイヤル

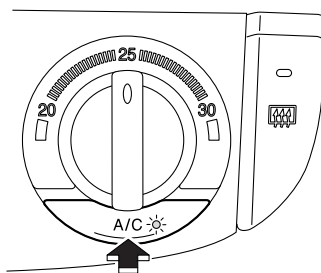
室内温度を調整するとき使います。
温度設定は 20.0 ～ 30.0 °C の範囲で変更できます。ただし、20.0 °C または 30.0 °C を設定したときは最大冷房または最大暖房となります。



400023

●A/Cスイッチ

风量ダイヤルが「OFF」以外のとき、スイッチを押すと冷房・除湿機能が作動し、スイッチ内のランプが点灯します。もう一度押すと冷房・除湿機能は停止します。



400020

室内
装
備
品
の
使
い
か
た

■オートエアコンの使いかた

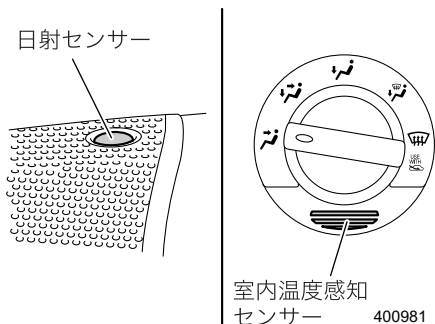
スイッチ	吹き出し口切り替え	風量調整	A/Cスイッチ	温度調整	内外気切り替え	アドバイス
冷房		AUTO または 希望位置	ON	希望位置 (中間より左側)		<ul style="list-style-type: none"> 早く冷やしたいときは、内外気切り替えレバーを内気循環にしてください。 冷房の効きを高めたいときは、内気循環をお使いください。
暖房		AUTO または 希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間より右側)		<ul style="list-style-type: none"> ウインドウにも少し送風されますが、これはウインドウの曇りを防止するためのものです。 顔部が熱い場合は、温度調整ダイヤルを左側に動かし、適温に調整してください。
曇り除去と暖房		AUTO または 希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルの位置によっては曇り除去機能が低下する場合があります。
頭寒足熱		AUTO または 希望位置	ON または OFF	希望位置 (中間)		<ul style="list-style-type: none"> 温度調整ダイヤルを右または左いっぱいにするとう頭寒足熱にはなりません。冷風または温風のための吹き出しになります。
曇り除去		AUTO または 希望位置	ON	中間より右側		<ul style="list-style-type: none"> 夏期においてウインドウの曇りを除去する場合、温度調整ダイヤルは中間より左側でご使用ください。 外気温度と吹き出し風の温度差が大きいと、窓の外側が曇る場合があります。このときは風量調整ダイヤルを「OFF」にするか、温度調整ダイヤルを右に動かしてください。
換気		AUTO または 希望位置	OFF	希望位置		

注) 吹き出し口切り替えダイヤルを にすると、効果的に曇りを取るため、自動で除湿機能(A/Cスイッチ)がONになります。

■感知センサー

オートエアコンには次のセンサーが付いています。

- 日射センサー
(左側フロントスピーカー部分)
- 室内温度感知センサー
(吹き出し口切り替えダイヤルの下側)



⚠ 注意

センサーに衝撃を与えたり、水をかけたり、物を置いたりしないでください。
温度制御にずれが発生する原因となります。

オーディオシステム

あらかじめ知っておいていただきたいこと

⚠ 注意

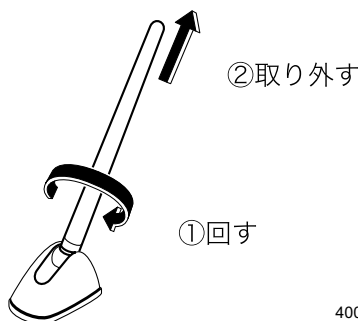
- 車外の音が聞こえる程度の音量で聞いてください。車外の音が聞こえない状態で運転すると危険です。
- 運転者は車が止まっているときにラジオ・オーディオを操作してください。
- 内部に水や異物を入れないでください。故障の原因となります。
- お子さまがディスク挿入口に指を入れないようにしてください。けがの原因となるおそれがあります。

■ ラジオ受信について

- 受信感度は周囲の状況、気象状況、送信局からの電波の強さ、送信局からの距離によって影響を受けます。山ろくや建物の近くでは電波がさえぎられたり、電波が反響して受信状態が悪くなることがあります。また、電車の架線や高圧電線の近くでは高圧電流の影響でノイズ（雑音）が入ったりするなど受信状態が悪くなる場合があります。
- ラジオを聞いているとき、室内または車の近くで携帯電話や無線機を使うとノイズ（雑音）が入ることがあります。

■ アンテナについて

- アンテナはルーフ後方の中央部に取り付けられています。
- アンテナのロッド部は前後方向に倒れます。ラジオを聞く際は、立てた状態にしてください。
- ロッドは根元を回すことで取り外しできます。



400999

⚠ 注意

- 車庫、立体駐車場など、低い天井がある場所では、ロッドを倒してください。
- 洗車機で洗車する場合、ロッドを取り外してください。取り付けたままだと、ルーフに傷がつく場合があります。
- 外したロッドを取り付ける場合は、確実に締め付けてください。

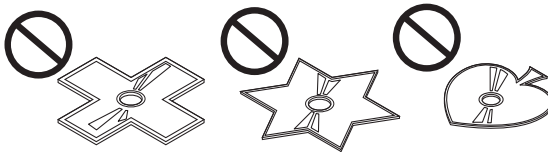
■CDについて

- 右図のマークがついている音楽 CD を使ってください。右図のマークがないものは使えません。



400335

- ディスクには指紋、汚れ、傷等をつけないように取り扱ってください。
- ディスクを扱うときは、中心の穴と端を挟んで持ち、ラベル面を上にしてください。
- ディスクの汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭き取ってください。手で強く押ししたり、かたい布でこすると表面に傷がつくことがあります。また、レコードスプレー・帯電防止剤・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤や化学ぞうきんなどを使用すると、ディスクが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- ▲(CD排出) ボタンを押して、ディスクが飛び出た状態のまま長時間放置しないでください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。
- ディスクは熱に弱いので直射日光の当たる場所やヒーター吹き出し口などの近くに置かないでください。ディスクが変形して使用できなくなります。
- 直径 12cm、または 8cm の円形以外のディスクは再生できません。特殊形状のディスクは、誤作動や故障の原因となりますので、使用しないでください。

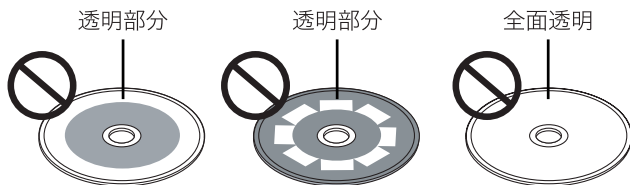
室内
装
備
品
の
使
い
か
た

401174

次ページへ ⇒

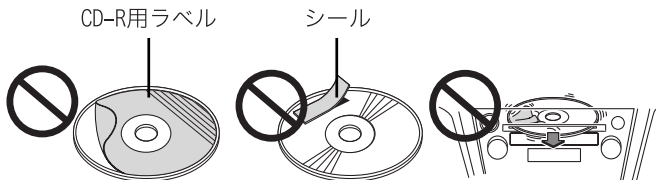
⇒前ページより

- DualDisk には対応していません。誤作動や故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 記録部分に透明、または半透明部分があるディスクは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので、使用しないでください。



401175

- セロハンテープ、シール、CD-R 用ラベルなどが貼ってあるディスクや、はがしたあとのあるディスクは使用しないでください。プレーヤーが正常に作動しなくなったり、ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となるおそれがあります。



401176

- 寒いときや雨天のときは、プレーヤー内に露が生じ、正常に作動しないことがあります。この場合CDを取り出し、しばらく待ってから再度CDを挿入してください。
- 炎天下に長時間駐車した後などはプレーヤーの温度が高くなり、正常に作動しないことがあります。温度が下がるまでしばらく待ってください。
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音飛びすることがあります。

■MP3/WMAについて

本機はMP3/WMAファイルを再生することができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

●使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-R、およびCD-RWです。本機では簡易フォーマットで作成されたメディアは再生できません。

●再生できるMP3フォーマット

本機で再生できるMP3フォーマットは以下になります。

- 規格：
 - MPEG-1 Layer 3
 - MPEG-2 Layer 3
 - MPEG 2.5 Layer 3
- サンプル周波数：
 - 8, 11.025, 12, 16, 22.05, 24, 32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：8～320 (kbps)
- 可変ビットレート対応

●再生できるWMAフォーマット

本機で再生できるWMAフォーマットは、WMA Ver 9.0 Standard規格のものです。

- Windows Media Audio 9 準拠
- サンプル周波数：32, 44.1, 48 (kHz)
- ビットレート：64～192 (kbps)

ただし、48kHzサンプリング64kbpsは非対応です。

●マルチセッションについて

マルチセッションとは、CD-R/RWのデータ書き込み方式の一種で、データを2回以上に分けて書き込むことです。セッションとは1回ごとのデータ書き込みのことです。

本機はマルチセッションに対応していますが、すべてのデータが再生されない場合があります。

- 最初のセッションの1番目の曲が音楽CDの場合
セッション内の音楽CDが最初に再生されます。同じセッション内にMP3またはWMAデータがある場合はその後に再生されます。
2番目のセッション以降は再生されません。
- 最初のセッションの1番目の曲が音楽CDでない場合
音楽CDが書き込まれているセッションまでは再生できます。
そのとき、音楽CDが最初に再生され、その後MP3/WMAファイルが再生されます。

●使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- ISO 9660 Level 1：12文字
- ISO 9660 Level 2：31文字
- Joliet：64文字
- Romeo：128文字

次ページへ ⇒

⇒前ページより

表示は16文字まで可能です。

使用できる文字はライティングソフトの取扱説明書および「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、表示可能な文字は、以下の文字になります。

- 半角文字（英数字、カタカナ、ASCIIコード）
- 全角カタカナ（半角カタカナに変換して表示）
- 一部全角記号（ASCIIコードの記号に変換）

上記以外の文字については「*」で表示されます。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 最大ディレクトリ階層：8階層（ROOTを含む）
- 1フォルダ中の最大ファイル数：255
- 最大フォルダ数：255
- 最大ファイル数：999

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

● 圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3/WMA ファイルに圧縮するときには、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128 kbps”の“固定”を推奨します。

何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

● ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されない場合があります。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの取扱説明書をご覧ください。

また、MP3/WMAファイルと認識されて再生されるファイルは、“.MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。

⊘ 禁止

MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損するおそれがあります。

MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

●ID3/WMA Tagについて

ID3/WMA Tagについては、未対応になります。

●メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

このため、再生するメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

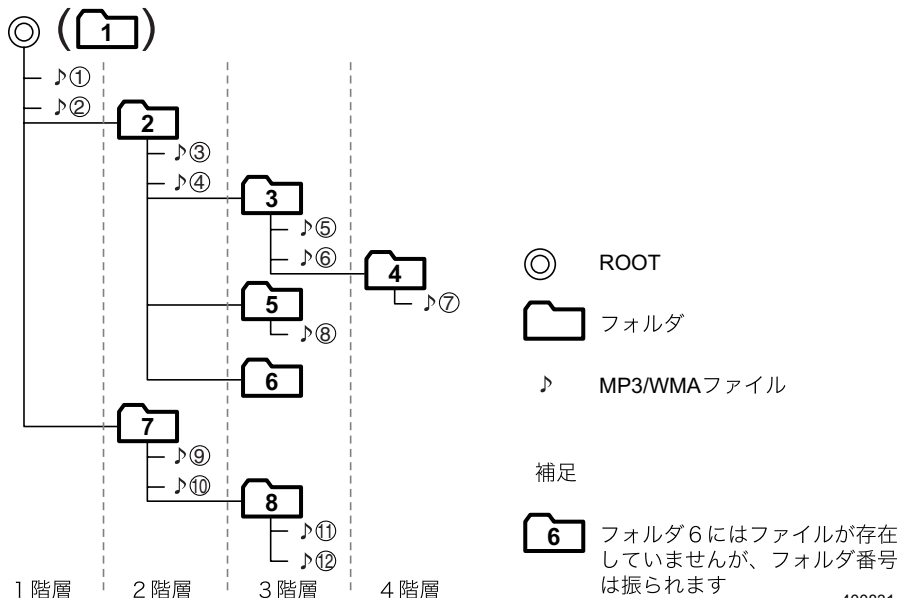
また、次のMP3/WMAファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

●MP3/WMAファイルを再生する順番

再生、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。次のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

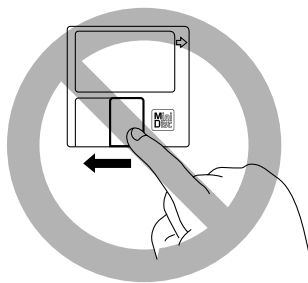
メディアの階層例



400831

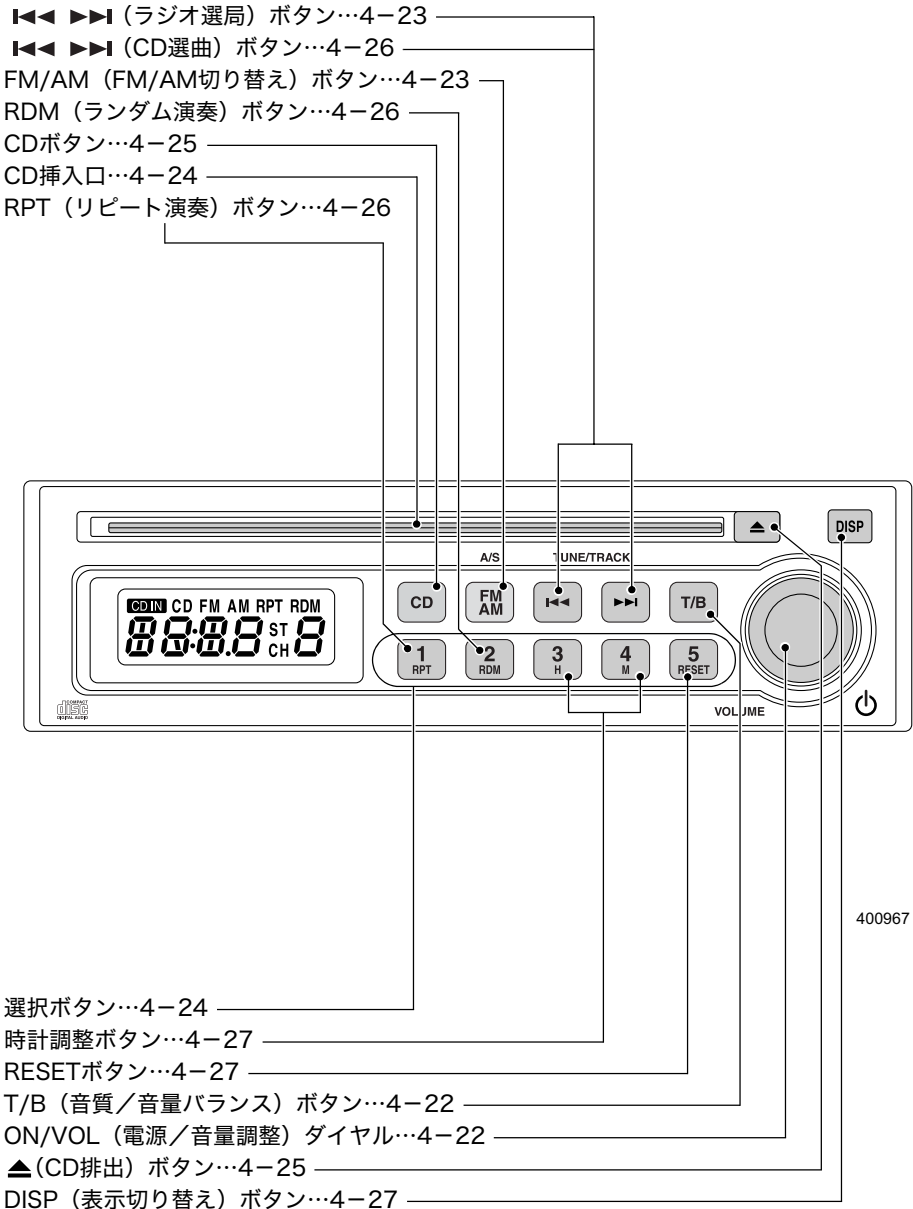
■MDについて

- MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが損傷して使用できなくなります。シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指でさわらないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。
- カートリッジ表面の汚れやゴミは乾いた布で拭き取ってから使用してください。とくに油污れが付いた状態で使用しますと、ディスクが引き込まれなかったり、取り出せなくなることがあります。また、お手入れするときは、シャッターを開けないようご注意ください。
- MDを長時間本体に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。
- MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。
- ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本体の中ではがれて取り出せないなど故障の原因となります。
- レンズクリーナーは使用しないでください。故障の原因となります。



400834

AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー



室内装備品の使いかた

■電源、音量・音質の調整

●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイヤルを押すごとに電源がON・OFFします。



アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
- 「CD」ボタン*、「FM/AM」ボタンを押したとき
- *「CD」ボタンはCDが挿入されているとき

●音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤルを回して調整します。

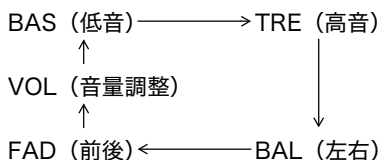
右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

●音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「TONE/BAL」ボタンを押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



と、切り替わり、表示部に表示されます。

②「ON/VOL」ダイヤルを回して好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回す	右に回す
BAS (低音) (-7~+7)	低音減衰	低音強調
TRE (高音) (-7~+7)	高音減衰	高音強調
BAL (左右) (L6~R6)	右側減衰	左側減衰
FAD (前後) * (R6~F6)	前側減衰	後側減衰

*オプションのリヤスピーカーをつけたときの機能です。



アドバイス

調整時、5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

■ラジオを聞くととき

●FM/AMを受信するとき

「FM/AM」ボタンを押します。

- バンドを切り替えるとき

「FM/AM」ボタンを押し、バンドを選択します。

ボタンを押すごとに

FM ↔ AM

と、切り替わり、表示部に表示されます。



アドバイス

表示部は時計の表示を優先するモードと、現在使用している機能の表示を優先するモードの切り替えができます。

☆4-27ページ参照

●選局するとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押します。

- 周波数に合わせて放送を聞くととき

「◀◀」ボタンを押す：

ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。

「▶▶」ボタンを押す：

ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

- 自動的に放送局を探すとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを0.5秒以上押します。放送局が見つかると受信を始めます。

「◀◀」ボタンを押す：周波数の低い方へ放送局を探します。

「▶▶」ボタンを押す：周波数の高い方へ放送局を探します。



アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

●記憶させた放送局を呼び出すとき

「選択」ボタンのいずれかを押します。



アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「選択」ボタンのいずれか1つを2秒以上押します。

表示部に押したボタンの番号（チャンネル番号）が表示されます。



アドバイス

各バンド（FM、AM）で最大5局まで記憶できます。

●自動的に放送局を記憶するとき（AUTO STORE）

- ①「FM/AM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「FM/AM」ボタンを2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。



アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

■CDを聞くととき

●CDを挿入する

CDのラベル面を上にしてCD挿入口に差し込みます。CDを挿入すると、表示部に“CD”が点灯し、演奏が始まります。

CD演奏中はトラック番号（曲番号）を表示します。



アドバイス

表示部は時計の表示を優先するモードと、現在使用している機能の表示を優先するモードの切り替えができます。

☆4-27ページ参照

● CDが挿入されているとき

「CD」ボタンを押すと演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）を表示します。

 **アドバイス**

- 8cmCDは8cmCD用アダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ER-○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスパル販売店で点検を受けてください。

*音楽データを圧縮して記録する方式

● 演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤルを押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。または「▲」ボタンを押してCDを排出します。

● CDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。

 **アドバイス**

- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと、自動的に引き込まれます。（エンジンスイッチがAccまたはONの場合）
この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
- CDが未挿入のときでも「▲」ボタンを押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

●選曲するとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押します。

- 先の曲にするとき

「▶▶」ボタンを押します。押すごとに先の曲の頭出しをします。

- 手前の曲にするとき

「◀◀」ボタンを押します。1回押すと今聞いている曲の先頭に、押すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押します。

- 早送り

「▶▶」ボタンを0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

- 早戻し

「◀◀」ボタンを0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき（リピートプレイ）

① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。

② 表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。

③ 解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

●曲を自動的に選ばせて聞くととき（ランダムプレイ）

① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。

② 表示部に“RDM”が点灯します。

③ 曲を自動的に選び演奏します。

④ 解除するには再度「RDM」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

■時計

●時計を合わせるとき

時計表示のとき、「DISP」ボタンを押しながら「時計調整」ボタンを押して、時刻を合わせます。

時 (H) の調整：「DISP」ボタンを押しながら「時計調整 (3)」ボタンを押します。

分 (M) の調整：「DISP」ボタンを押しながら「時計調整 (4)」ボタンを押します。

- 時報に合わせて時刻を調整するとき

時計表示のとき、時報と同時に「DISP」ボタンを押しながら「RESET」ボタンを押します。
(例)

11：30～12：29 の場合…12：00

12：30～1：29 の場合…1：00



アドバイス

電源が切れてふたたび接続したときは、表示が「12：00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。

●時計表示と機能表示を切り替えるとき

「DISP」ボタンを押すごとに時計表示優先モードと機能表示モードの切り替えができます。

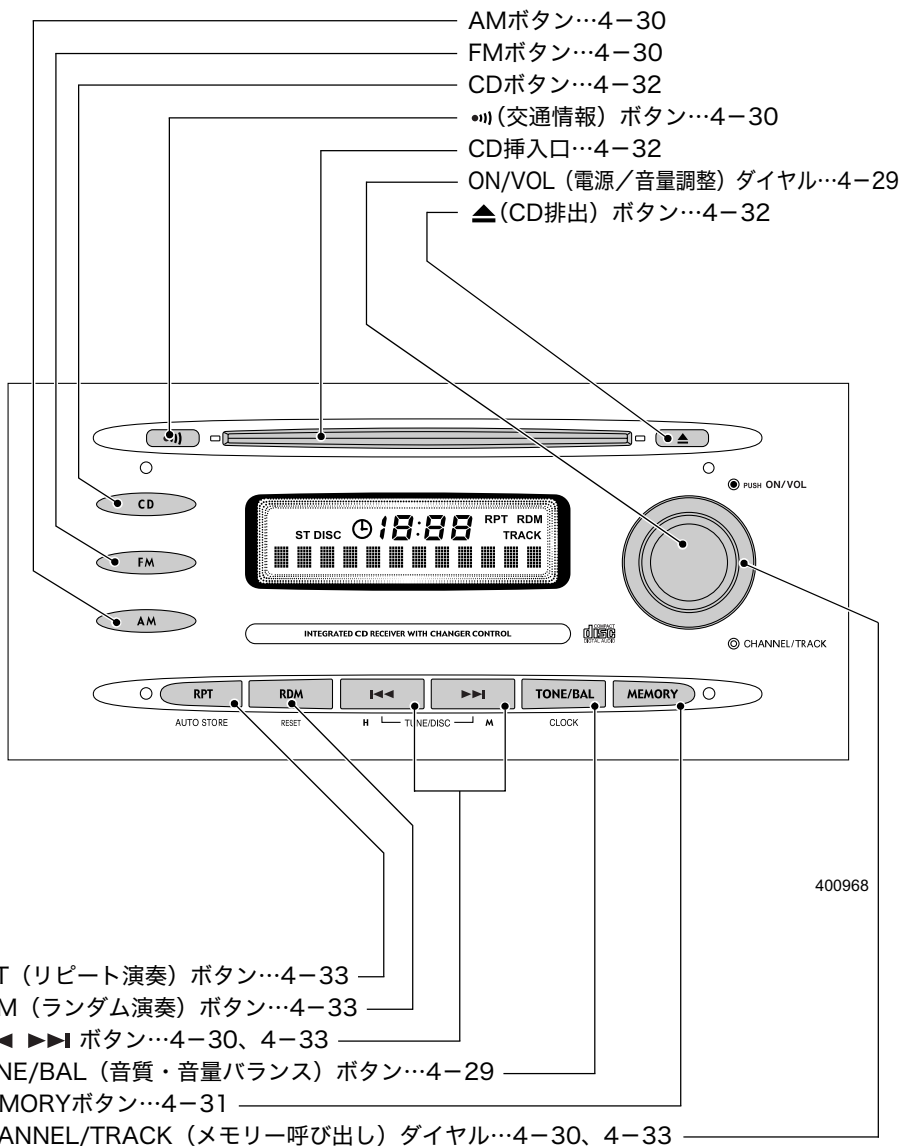
- 機能表示モード

各モードの状態のみ表示するモードです。機能表示モードのとき「DISP」ボタンを押すと、時計表示優先モードになります。

- 時計表示優先モード

各操作を行うと、約5秒間はその操作に応じた表示を行い、その後時計表示に戻ります。

AM/FMマルチ電子チューナー・CDプレーヤー



■電源、音量・音質の調整

●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイヤルを押すごとに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。

🏠 アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
- 「CD」ボタン*、「FM」ボタン、「AM」ボタン、「📶」ボタンを押したとき
- *「CD」ボタンはCDが挿入されているとき

●音量を調整するとき

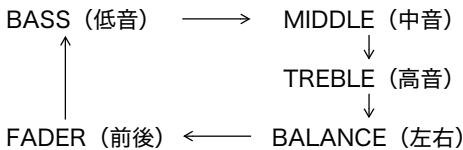
「ON/VOL」ダイヤルを回して調整します。

右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

●音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

- ①「TONE/BAL」ボタンを押して調整モードを選択します。
ボタンを押すごとに



と、切り替わり、表示部に表示されます。

- ②「⏮」ボタンまたは「⏭」ボタンを押して好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	⏮	⏭
BASS (低音) (-6~+6)	低音減衰	低音強調
MIDDLE (中音) (-6~+6)	中音減衰	中音強調
TREBLE (高音) (-6~+6)	高音減衰	高音強調
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰
FADER (前後)* (R9~F9)	前側減衰	後側減衰

*オプションのリヤスピーカーをつけたときの機能です。

🏠 アドバイス

調整時、5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

■ラジオを聞くとき

●FMを受信するとき

「FM」ボタンを押します。
ボタンを押すごとに

FM1 ↔ FM2

と、切り替わり、表示部に表示されます。

●AMを受信するとき

「AM」ボタンを押します。

●選局するとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押します。

- 周波数に合わせて放送を聞くとき

「◀◀」ボタンを押す：

ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。

「▶▶」ボタンを押す：

ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

- 自動的に放送局を探すとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを0.5秒以上押します。放送局が見つかると受信を始めます。

「◀◀」ボタンを押す：周波数の低い方へ放送局を探します。

「▶▶」ボタンを押す：周波数の高い方へ放送局を探します。

アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

●記憶させた放送局を呼び出すとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを回してチャンネル番号を選択します。

アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

☆4-31ページ参照

●交通情報を聞くとき

「📶」ボタンを押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。

もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●手で放送局を記憶するとき

- ①「FM」ボタンまたは「AM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「MEMORY」ボタンを押し続けると選択した周波数が点滅し、その後「ch」が点滅します。
- ④「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを回して記憶したいチャンネル番号（1～6 ch）を選択します。
- ⑤「MEMORY」ボタンを2秒以上押します。
- ⑥以降、同様に②～⑤の手順を繰り返し、他のチャンネルに放送局を記憶できます。



アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

●自動的に放送局を記憶するとき（AUTO STORE）

- ①「FM」ボタンまたは「AM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「RPT」ボタン*を2秒以上押します。

受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。

*ラジオ受信モードでは「RPT」ボタンが「AUTO STORE」ボタンとなります。



アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

●交通情報局をかえるとき

- ①「📻」ボタンを押して交通情報を選択します。
- ②「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押して選局します。
- ③「📻」ボタンを2秒以上押すと、選局した交通情報局を記憶させることができます。

■CDを聞くとき

●CDを挿入する

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。ラベル面を上にしてCD挿入口に差し込みます。CDを挿入すると演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。

●CDが挿入されているとき

「CD」ボタンを押すと演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。



アドバイス

- 8 cm CDは8 cm CDアダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- CDが挿入されていないとき、CD挿入口の両端の表示灯は点灯しています。CDを挿入すると表示灯は消灯します。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR-○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。
*音楽データを圧縮して記録する方式

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤルを押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。

●CDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。

🏠 アドバイス

- 排出された CD を 15 秒以上そのままにしておくと自動的に引き込まれます。(エンジンスイッチがAccまたはONの場合) この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞ときは再度「CD」ボタンを押してください。
- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- CDが未挿入のときでも「▲」ボタンを押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

●選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを回します。

- 先の曲にするとき
「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを長めに押します。

- 早送り
「▶▶」ボタンを0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。
- 早戻し
「◀◀」ボタンを0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞きとき（リピートプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。
- ② 表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③ 解除するには再度「RPT」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

●曲を自動的に選ばせて聞くとき（ランダムプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。
- ② 表示部に“RDM”が点灯します。
- ③ 曲を自動的に選び演奏します。
- ④ 解除するには再度「RDM」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

■時計

●時計を合わせるとき

「TONE/BAL」ボタン*を押しながら「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押して、時刻を合わせます。

*時計を合わせるときは「TONE/BAL」ボタンが「CLOCK」ボタンとなります。

時 (H) の調整：「TONE/BAL」ボタンを押しながら「◀◀」ボタンを押します。

分 (M) の調整：「TONE/BAL」ボタンを押しながら「▶▶」ボタンを押します。

- 時報に合わせて時刻を調整するとき

時報と同時に「TONE/BAL」ボタンを押しながら「RDM」ボタン*を押します。

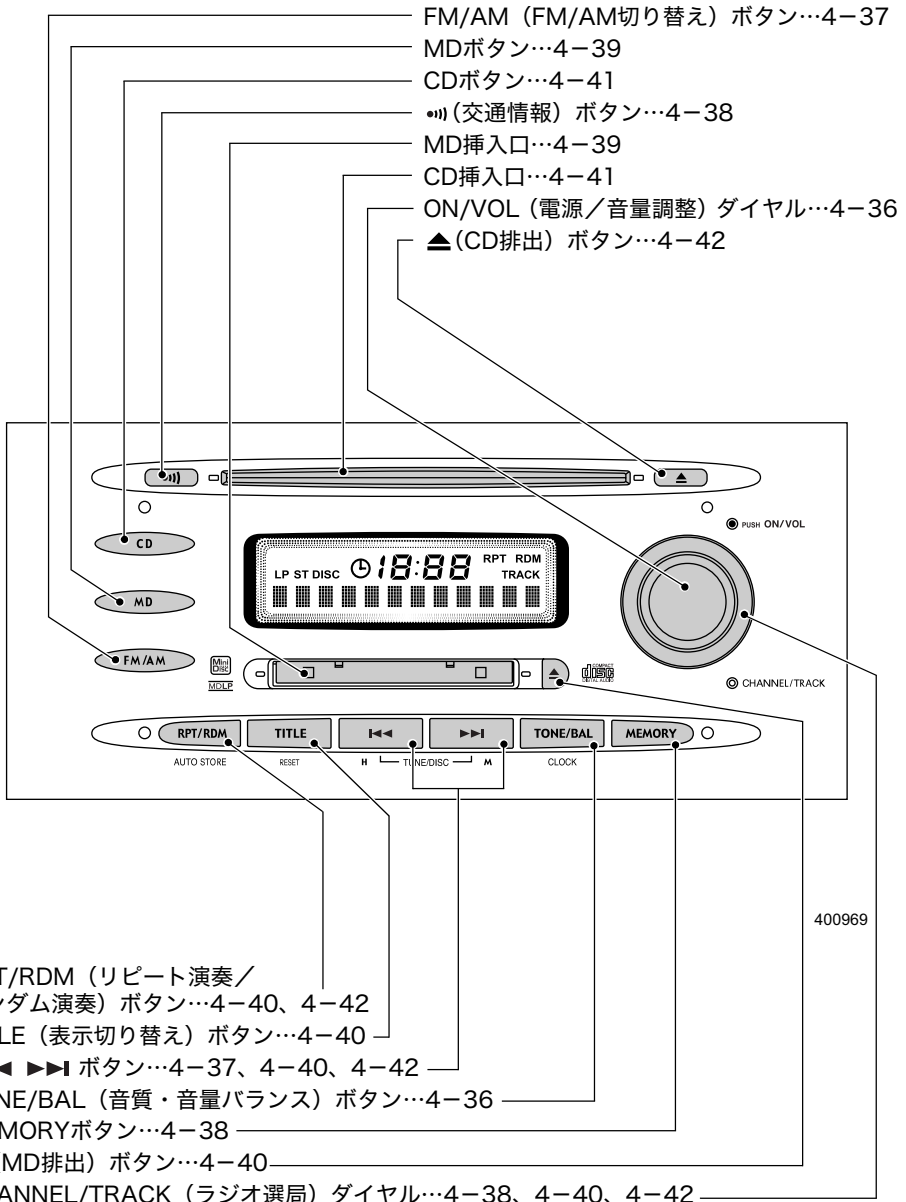
*時計を合わせるときは「RDM」ボタンが「RESET」ボタンとなります。

(例)

11 : 30 ~ 12 : 29 の場合… 12 : 00

12 : 30 ~ 1 : 29 の場合… 1 : 00

AM/FMマルチ電子チューナー・CD・MDプレーヤー



室内装備品の使いかた

■電源、音量・音質の調整

●電源を入れるとき


エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「ON/VOL」ダイヤルを押すごとに電源がON・OFFします。

電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。



アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
- MDを挿入したとき
- 「CD」ボタン*、「MD」ボタン*、「FM/AM」ボタン、「」ボタンを押したとき

*「CD」ボタンはCDが挿入されているとき

「MD」ボタンはMDが挿入されているとき

●音量を調整するとき

「ON/VOL」ダイヤルを回して調整します。

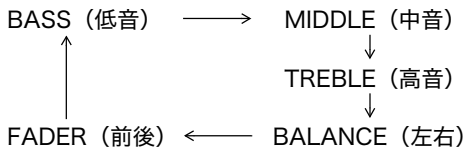
右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。



●音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「TONE/BAL」ボタンを押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに



と、切り替わり、表示部に表示されます。

②「」ボタンまたは「」ボタンを押してお好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)		
BASS (低音) (-6~+6)	低音減衰	低音強調
MIDDLE (中音) (-6~+6)	中音減衰	中音強調
TREBLE (高音) (-6~+6)	高音減衰	高音強調
BALANCE (左右) (L9~R9)	右側減衰	左側減衰
FADER (前後) * (R9~F9)	前側減衰	後側減衰

*オプションのリヤスピーカーをつけたときの機能です。

🏠 アドバイス

調整時、5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

■ ラジオを聞くとき

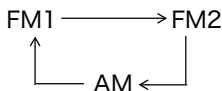
● FM/AMを受信するとき

「FM/AM」ボタンを押します。

- バンドを切り替えるとき

「FM/AM」ボタンを押し、バンドを選択します。

ボタンを押すごとに



と、切り替わり、表示部に表示されます。

● 選局するとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押します。

- 周波数に合わせて放送を聞くとき

「◀◀」ボタンを押す：

ボタンを押すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。

「▶▶」ボタンを押す：

ボタンを押すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

- 自動的に放送局を探すとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを0.5秒以上押します。放送局が見つかると受信を始めます。

「◀◀」ボタンを押す：周波数の低い方へ放送局を探します。

「▶▶」ボタンを押す：周波数の高い方へ放送局を探します。

🏠 アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

●記憶させた放送局を呼び出すとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを回してチャンネル番号を選択します。



アドバイス

バッテリーを交換したときなどは記憶した内容が消去されます。この場合は再度記憶させてください。

●交通情報を聞くととき



「」ボタンを押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。

もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●手で放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「」ボタンまたは「」ボタンを操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「MEMORY」ボタンを押し続けると選択した周波数が点滅し、その後「ch」が点滅します。
- ④「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを回して記憶したいチャンネル番号（1～6 ch）を選択します。
- ⑤「MEMORY」ボタンを2秒以上押します。
- ⑥以降、同様に②～⑤の手順を繰り返し、他のチャンネルに放送局を記憶できます。]



アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

●自動的に放送局を記憶するとき（AUTO STORE）





- ①「FM/AM」ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「RPT/RDM」ボタン*を2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から自動的に周波数の低い順に記憶されます。
*ラジオ受信モードでは「RPT/RDM」ボタンが「AUTO STORE」ボタンとなります。



アドバイス

受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

●交通情報局をかえるとき

- ①「」ボタンを押して交通情報を選択します。
- ②「」ボタンまたは「」ボタンを押して選局します。
- ③「」ボタンを2秒以上押しすと、選局した交通情報局を記憶させることができます。

■MDを聞くととき

●MDを挿入する


エンジンスイッチがAccまたはONのとき、MDを挿入することができます。MDのラベル面を上にし、シャッター面を右側にしてMD挿入口に入れます。MDを挿入すると演奏が始まります。MD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。

●MDが挿入されているとき

「MD」ボタンを押すと演奏が始まります。MD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。



アドバイス

- MDが挿入されていないとき、MD挿入口の両端の表示灯は点灯しています。MDを挿入すると表示灯は消灯します。
- MDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR—○”と表示されます。表示された場合は、「」ボタンを押してMDを取り出してください。MDに傷や変形がないこと、またMDプレーヤーに対応しているMDが正しく挿入されていることを確認してください。MDが取り出せない場合、もしくはMDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

●MDLPを聞くととき


通常のMDと同じ操作で聞くことができます。



アドバイス

- MDLP再生中は表示部に“LP”が点灯します。
- データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤルを押すか、他のモードに切り替えます。または「」ボタンを押してMDを排出します。

●MDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。MDが排出され、前のモードに切り替わります。



アドバイス

エンジンスイッチがOFFでもMDの排出をすることができます。

●選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを回します。

- 先の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。

- 手前の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを長めに押します。

- 早送り

「▶▶」ボタンを0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

- 早戻し

「◀◀」ボタンを0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき（リピートプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを押します。
- ② 表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③ 解除するには再度「RPT/RDM」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

●曲を自動的に選ばせて聞くととき（ランダムプレイ）

- ① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを2秒以上押します。
- ② 表示部に“RDM”が点灯します。
- ③ 曲を自動的に選び演奏します。
- ④ 解除するには再度「RPT/RDM」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

●表示部の表示を切り替えるとき

MD再生時、「TITLE」ボタンを押すごとに表示の切り替えができます。

トラック番号（曲番号）と演奏時間 ←



トラックタイトル（曲名）表示



ディスクタイトル表示

🏠 アドバイス

- 漢字、ひらがなで入力されたタイトルは表示できません。
- タイトル文字は1回に12文字まで表示できます。
- タイトル名が13文字以上の場合、タイトル表示中に「TITLE」ボタンを2秒以上押し続けるごとに、13文字以降のタイトルを表示します。
- MDにタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合“no name”と表示します。

■ CDを聞くととき

● CDを挿入する

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。ラベル面を上にしてCD挿入口に差し込みます。CDを挿入すると演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。

● CDが挿入されているとき

「CD」ボタンを押すと演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。

🏠 アドバイス

- 8 cm CDは8 cm CDアダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- CD が挿入されていないとき、CD 挿入口の両端の表示灯は点灯しています。CDを挿入すると消灯します。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD-ROMやMP3*、WMA*で記録されたCDは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部に“ERROR-○”と表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。

*音楽データを圧縮して記録する方式

●演奏を停止するとき

「ON/VOL」ダイヤルを押して電源を切るか、他のモードに切り替えます。

●CDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。



アドバイス

- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと自動的に引き込まれます。(エンジンスイッチがAccまたはONの場合) この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
- エンジンスイッチがOFFでもCDの排出をすることができます。
- CDが未挿入のときでも「▲」ボタンを押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

●選曲するとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを回します。

- 先の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。

- 手前の曲にするとき

「CHANNEL/TRACK」ダイヤルを左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを長めに押します。

- 早送り

「▶▶」ボタンを0.5秒以上押すと早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

- 早戻し

「◀◀」ボタンを0.5秒以上押すと早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき (リピートプレイ)

- ① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを押します。
- ② 表示部に“RPT”が点灯し、演奏中の曲を繰り返し演奏します。
- ③ 解除するには再度「RPT/RDM」ボタンを押します。表示部の“RPT”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

●曲を自動的に選ばせて聞くととき (ランダムプレイ)

- ① 曲の演奏中に「RPT/RDM」ボタンを2秒以上押します。
- ② 表示部に“RDM”が点灯します。
- ③ 曲を自動的に選び演奏します。
- ④ 解除するには再度「RPT/RDM」ボタンを押します。表示部の“RDM”が消灯し、通常の演奏に戻ります。

■時計

●時計を合わせるとき

「TONE/BAL」ボタン*を押しながら「◀◀」ボタンまたは「▶▶」ボタンを押して、時刻を合わせます。

*時計を合わせるときは「TONE/BAL」ボタンが「CLOCK」ボタンとなります。

時 (H) の調整：「TONE/BAL」ボタンを押しながら「◀◀」ボタンを押します。

分 (M) の調整：「TONE/BAL」ボタンを押しながら「▶▶」ボタンを押します。

- 時報に合わせて時刻を調整するとき

時報と同時に「TONE/BAL」ボタンを押しながら「TITLE」ボタン*を押します。

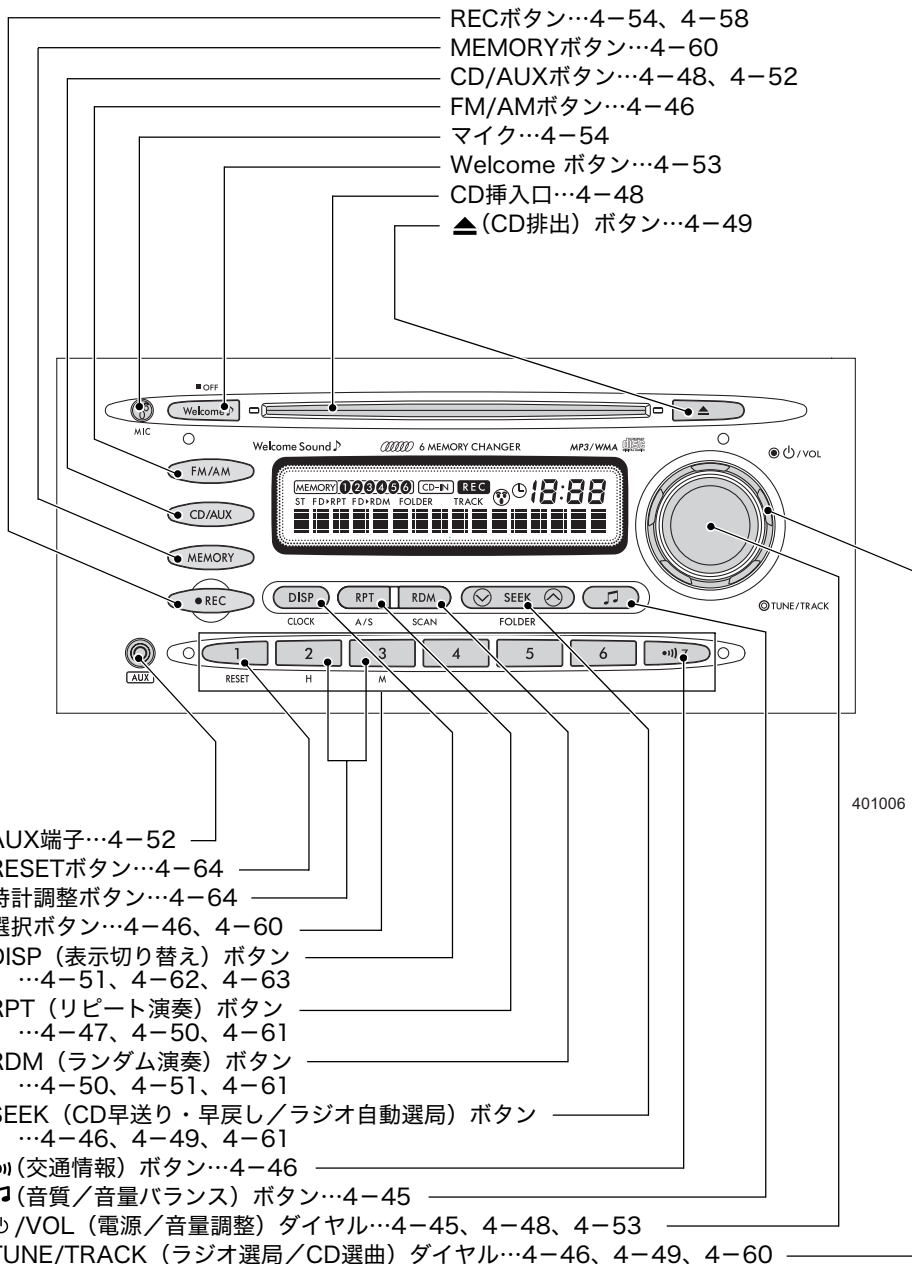
*時計を合わせるときは「TITLE」ボタンが「RESET」ボタンとなります。

(例)

11：30～12：29 の場合…12：00

12：30～1：29 の場合…1：00


AM/FMマルチ電子チューナー・メモリーチェンジャー付CDプレーヤー (ウェルカムサウンド機能付)



401006

■電源、音量・音質の調整


●電源を入れるとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「/VOL」ダイヤルを押すごとに電源がON・OFFします。


電源がONになると、前に電源をOFFにしたときのモードになります。

アドバイス

次の操作を行っても電源をONにすることができます。

- CDを挿入したとき
 - 「FM/AM」ボタン、「CD/AUX」ボタン※1、「MEMORY」ボタン※2または「」ボタンを押したとき
- ※1 CDが挿入されているときまたは外部機器が接続されているとき
 ※2 内蔵メモリに録音されているとき

●音量を調整するとき

「/VOL」ダイヤルを回して調整します。

右に回す：音が大きくなります。

左に回す：音が小さくなります。

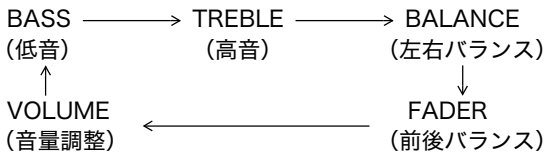
アドバイス


外部機器を再生している場合の音量調整は、外部機器を操作して行うこともできます。

●音質と前後・左右の音量バランスを調整するとき

①「」ボタンを押して調整モードを選択します。

ボタンを押すごとに調整モードが切り替わり、表示部に表示されます。



②「/VOL」ダイヤルを回してお好みの位置に調整します。

モード (調整レベル表示)	左に回したとき	右に回したとき
BASS (低音) (-7~+7)	低音減衰	低音強調
TREBLE (高音) (-7~+7)	高音減衰	高音強調
BALANCE (左右) (L6~R6)	右側減衰	左側減衰
FADER (前後) ※ (R6~F6)	前側減衰	後側減衰

※オプションのリヤスピーカーをつけたときの機能です。



アドバイス

調整時、5秒間操作を行わないと、通常表示に戻ります。

■ ラジオを聞くととき

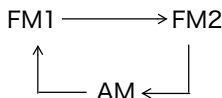
● FM/AMを受信するとき

「FM/AM」 ボタンを押します。

- バンドを切り替えるとき

「FM/AM」 ボタンを押し、バンドを選択します。

ボタンを押すごとにバンドが切り替わり、表示部に表示されます。



● 選局するとき

- 周波数に合わせて放送を聞くととき

「TUNE/TRACK」ダイヤルを回します。

右に回す：回すごとに周波数の高い方へ1ステップずつ切り替わります。

左に回す：回すごとに周波数の低い方へ1ステップずつ切り替わります。

- 自動的に放送局を探すとき

「SEEK」ボタンの「∧」または「∨」を押します。放送局が見つかると受信を始めます。

「∧」を押す：周波数の高い方へ放送局を探します。

「∨」を押す：周波数の低い方へ放送局を探します。



アドバイス

- AM放送はモノラル受信のみです。
- FMステレオ放送受信中は表示部に“ST”が点灯します。

● 記憶させた放送局を呼び出すとき

「選択」ボタンのいずれかを押します。



アドバイス

バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれても、記憶した内容は消去されません。再度記憶し直す必要はありません。

● 交通情報を聞くととき

「」ボタンを押します。

どのモードからでも自動的に切り替わります。

もう一度押すと、前のモードに切り替わります。

■ラジオの放送局を記憶するとき

●手動で放送局を記憶するとき

- ①「FM/AM」 ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「TUNE/TRACK」ダイヤルを操作するか、「SEEK」ボタンの「∧」または「∨」を操作し、記憶したい放送局を選択します。
- ③「選択」ボタンのうち、「7」以外のいずれか1つを2秒以上押すとブザー音（ピッ）が鳴り、放送局が記憶されます。



アドバイス

各バンド（FM1、FM2、AM）で最大6局まで記憶できます。

●自動的に放送局を記憶するとき（AUTO STORE）



- ①「FM/AM」 ボタンを押してバンドを選択します。
- ②「RPT」 ボタン（A/Sボタン）を2秒以上押します。
受信可能な放送局が見つかったら、チャンネル1から6まで自動的に周波数の低い順に記憶されます。



アドバイス

- 自動的に記憶される放送局が6局未満の場合、以前記憶した放送局が残ります。
- 受信電波が弱いと自動的に記憶できないことがあります。

●交通情報局をかえるとき

- ①「」 ボタンを押して交通情報を選択します。
- ②「SEEK」ボタンの「∧」または「∨」を押すか、「TUNE/TRACK」ダイヤルを回して選局します。
- ③「」 ボタンを2秒以上押すとブザー音（ピッ）が鳴り、選局した交通情報局を記憶させることができます。
- ④もう一度押すと、直前のモードに切り替わります。



アドバイス

交通情報局の周波数の初期値は1620 kHzとなっております。

■CDを聞くとき

CD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。

●CDが入っていないとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、CDを挿入することができます。CDを挿入すると、表示部に“CD-IN”が点灯し、演奏が始まります。CD演奏中はトラック番号（曲番号）と演奏時間を表示します。

●CDが入っているとき


「CD/AUX」ボタンを押すと演奏が始まります。



アドバイス

- MP3*、WMA*形式で記録されたCDを再生することができます。再生中は表示部にフォルダ番号が表示されます。ただし、著作権保護が入っている場合は再生できません。
- 8 cm CDは8 cm CDアダプターを使用せず、そのまま挿入してください。アダプターを使用すると、ディスクが取り出せないなど、損傷の原因となります。
- 音楽用CD-R、CD-RWに記録された音楽データを再生できます。ただし、CDの録音条件、特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。ファイナライズ（通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理）をされていないCD-R、CD-RWは再生できません。
- CD・TEXTについては対応しておりません。
- CDプレーヤーが動作しなくなった場合は、表示部にエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、「▲」ボタンを押してCDを取り出してください。CDに傷や変形がないこと、またCDプレーヤーに対応しているCDが正しく挿入されていることを確認してください。CDが取り出せない場合、もしくはCDを交換しても表示が消えない場合はスバル販売店で点検を受けてください。
*音楽データを圧縮して記録する方式

●演奏を停止するとき

「/VOL」ダイヤルを押すか、他のモードに切り替えます。または「▲」ボタンを押してCDを排出します。

●CDを取り出すとき

「▲」ボタンを押します。CDが排出され、前のモードに切り替わります。



アドバイス

- 排出されたCDを15秒以上そのままにしておくと自動的に引き込まれます。(エンジンスイッチがAccまたはONの場合)
この場合、CDの再生モードに切り替わらずそのままの状態です。CDを聞くときは再度「CD」ボタンを押してください。
- エンジンスイッチがLOCKでもCDの排出をすることができます。
- CDが未挿入のときでも「▲」ボタンを押すと、CD排出機構が動作し、動作音が聞こえます。

●選曲するとき

「TUNE/TRACK」ダイヤルを回します。

- 先の曲にするとき

「TUNE/TRACK」ダイヤルを右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。

- 手前の曲にするとき

「TUNE/TRACK」ダイヤルを左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲の頭出しをします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「SEEK」ボタンの「∧」または「∨」を押します。

- 早送り

「∧」を押し続けると早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

- 早戻し

「∨」を押し続けると早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●フォルダを選択するとき (MP3、WMA)

CD内のデータがフォルダ分けされている場合、お好みのフォルダを選択して聞くことができます。

- ① 「SEEK」ボタン(FOLDERボタン)の「∧」または「∨」を押します。

「∧」を押す：ボタンを押すごとに先のフォルダが選択されます。

「∨」を押す：ボタンを押すごとに手前のフォルダが選択されます。

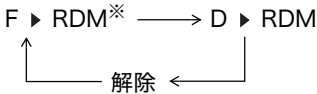
- ② フォルダ選択後、フォルダ内の全曲が自動的に再生されます。

● ディスクランダムプレイ

ディスク内の全曲を自動的に選曲させます。

① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。

押すたびにランダムモードが切り替わり、表示部に表示されます。



※フォルダ分けされていないCDの場合、“F ▶ RDM”には切り替わりません。

② “D ▶ RDM”を選択します。再生しているディスク内の曲を自動的に選び演奏します。

③ 解除するには「RDM」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

● 聞きたい曲を探すとき（スキャンプレイ）

曲の最初の10秒間だけを順番に再生する機能です。

① 曲の演奏中に「RDM」ボタン（SCANボタン）を2秒以上押すとブザー音（ピッ）が鳴ります。

② トラック番号（曲番号）が点灯し、スキャンプレイが開始されます。

③ 解除するには再度「RDM」ボタン（SCANボタン）を2秒以上押します。

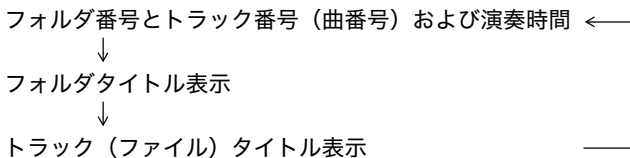


アドバイス

スキャンプレイは、フォルダ内の曲の演奏が終わると同じフォルダの先頭の曲に戻り、スキャンプレイを続けます。

● 表示部の表示を切り替えるとき（MP3、WMAのみ）

CD再生時、「DISP」ボタンを押すごとに表示の切り替えができます。



アドバイス

- 漢字、ひらがなで入力されたタイトルは表示できません。その場合“*”と表示されます。
- タイトル文字は1回に16文字まで表示できます。17文字目以降の表示はできません。
- ディスクにタイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合、“NO NAME”と表示されます。
- ROOTフォルダは“ROOT”と表示します。
- MP3、WMA形式で記録されていないCDを再生しているときは、表示の切り替えはできません。

■外部機器を再生するとき

●AUX端子について

外部機器を接続するための入力端子です。

市販のポータブルオーディオなどをAUX端子に接続することができます。

●再生するとき

市販のAUX接続コード（抵抗なし）を使用して、外部機器をAUX端子に接続します。

エンジンスイッチがAccまたはONのとき「CD/AUX」ボタンを押すと、表示部に“AUX PLAY”が点灯し、外部機器を操作して再生することができます。

注意

- 外部機器の音量が大きくと設定されていると、外部機器の接続時に予想以上に大音量で再生される場合があります。外部機器の接続時はあらかじめ外部機器の音量を適度に設定してください。
- 接続した外部機器によっては、ノイズが発生したり音が割れる場合があります。以下の操作を行ってください。
ノイズが発生する場合：
外部機器の音量を大きくしてください。
音が割れる場合：
外部機器の音量を小さくしてください。

アドバイス

- ステレオミニプラグを接続しないと、AUXボタンを押してもAUXモードになりません。
- AUX端子に接続するときは、φ3.5ステレオミニプラグを使用してください。
- 外部機器の操作方法については、お手持ちの外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 外部機器を再生している場合の音量および音質の調整は、オーディオ本体を操作して行うこともできます。

■ ウェルカムサウンド機能

ウェルカムサウンド機能とは、運転席のドアを閉めたときにあらかじめ設定した音楽または音声を最長15秒間再生することができる機能です。

⚠ 注意

- 録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機の故障、誤動作または不具合により録音されなかった録音内容および消失した録音データについては補償できません。
- 修理などのサービス対応時に、録音されたデータが消失します。製品の仕様上、録音されているデータの内容を補償することはできません。
- 故障などによりオーディオを交換したときは、録音データは消去されます。

● 再生するとき

運転席のドアを閉めたときにウェルカムサウンドが最長15秒間再生されます。再生中は“Welcome!”と表示部に表示されます。

🏠 アドバイス

- 運転席以外のドアを開閉しても再生されません。
- ドアを開けた後すぐに閉めた場合、再生されないことがあります。
- 1回再生された後にエンジンスイッチをAccまたはONにした場合、エンジンスイッチをLOCKにしてから3分以上経過しないとドアを閉めても再生されません。
- 再生中にエンジンスイッチをAccにするまたはオーディオの電源をONにすると再生が停止します。
- 15秒間の再生時間の残り約2秒前から徐々に音が小さくなります。音量によっては最後の録音内容が聞きとれない場合があります。

● 音量を調整するとき

記憶されているウェルカムサウンドごとに音量を調整することができます。再生中に「 \cup /VOL」ダイヤルを回して、-6～+6の範囲で調整できます。

右に回す：音が大きくなります

左に回す：音が小さくなります

音量の設定は次の方法で記憶することができます。

エンジンスイッチがAccまたはONのときに「Welcome」ボタンを押してから「 \cup /VOL」ダイヤルを回し音量を調整する。

●選曲するとき

- ① エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「Welcome」ボタンを押すと設定されているウェルカムサウンドが再生されます。このとき、表示部に再生しているウェルカムサウンドの番号と“⑨”が点滅し、“1～7ヲオシテクタ”サイ”と表示されます。
- ② 設定したいウェルカムサウンドを「選択」ボタンより選択します。「選択」ボタンの「7」を押すと1～6に録音されているウェルカムサウンドをランダムに再生します。
- ③ 解除するには「Welcome」ボタンを押します。

●設定を変更するとき

エンジンスイッチがAccまたはONのとき、「Welcome」ボタンを2秒以上押しごとに設定がONまたはOFFに切り替わります。設定をONにすると、表示部に“⑨”が点灯します。設定をOFFにすると、表示部の“⑨”が消灯します。設定が切り替わるとブザー音（ピッ）が鳴ります。

●録音するとき

エンジンスイッチがAccまたはONで車が停止しており、駐車ブレーキがかかっているときに録音することができます。録音時間は最長15秒です。

録音できる音源は、次のようになります。

マイク	外部機器	音楽CD	CD-R/RW
○	○	○	△ (*)

*一部のCD-R/RWは録音できない場合があります。

●マイクから録音するとき

- ① 「Welcome」ボタンを押して「選択」ボタンにより、記憶させたい番号を選択します。
- ② 選択した番号に記憶されているウェルカムサウンドが再生されます。再生中に「REC」ボタンを押します。
- ③ 録音3秒前からカウントダウンが始まり、0秒になるとブザー音（ピー）が鳴ります。その後、録音を開始します。マイクはオーディオの左上部にあります。録音中は表示部に“マイクロクオン” および録音時間が表示されます。
- ④ 録音開始から15秒経過するとブザー音（ピー）が鳴り、録音が終了します。録音を途中で終了する場合は、「REC」ボタンを押します。
- ⑤ 録音終了後、録音内容が1回再生され、録音内容を確認することができます。このとき、表示部に“サイセイチュウ”と表示されます。
- ⑥ 解除するには「Welcome」ボタンを押します。また、「FM/AM」ボタン、「MEMORY」ボタンを押しても解除できます。

🏠 アドバイス

- 録音は必ず車を停止させて行ってください。駐車ブレーキがかかっていないと録音することができません。
- マイク録音はオーディオパネル前面にあるマイクで録音します。周囲の音も録音されますので、静かな場所で録音することをお奨めします。
- 15秒間操作を行わないと録音モードが解除されます。解除された場合は最初から操作を行ってください。
- CDの録音中は、ウェルカムサウンド機能のON・OFF切り替え以外は操作できません。

● CDから録音するとき

- ① 録音するCDを挿入してください。
- ② 「Welcome」ボタンを押して、「選択」ボタンにより記憶させたい番号を選択します。
- ③ 選択した番号に記憶されているウェルカムサウンドが再生されます。再生中に「CD/AUX」ボタンを押します。
- ④ CDが再生されます。「TUNE/TRACK」ダイヤルまたは「SEEK」ボタンを操作して録音を開始するところを決定します。

☆4-49ページ参照

- ⑤ 「REC」ボタンを押すと録音が始まります。録音中は表示部に“CDロックオン”および録音時間が表示されます。
- ⑥ 録音開始から15秒経過するとブザー音（ピピッ）が鳴り、録音が終了します。録音を途中で終了する場合は、「REC」ボタンを押します。
- ⑦ 録音終了後、録音内容が1回再生され、録音内容を確認することができます。このとき、表示部に“サイセイチュウ”と表示されます。
- ⑧ 再生を途中で終了する場合は「Welcome」ボタンを押します。また、「FM/AM」ボタン、「MEMORY」ボタンを押しても終了できます。

🏠 アドバイス

- 録音は必ず車を停止させて行ってください。駐車ブレーキがかかっていないと録音することができません。
- 15秒間操作を行わないと録音モードが解除されます。解除された場合は最初から操作を行ってください。
- MP3/WMAなどの圧縮された音楽データは録音できません。

- 外部機器から録音するとき
 - ① 外部機器を接続します。
 - ② 「Welcome」ボタンを押して、「選択」ボタンにより記憶させたい番号を選択します。
 - ③ 選択した番号に記憶されているウェルカムサウンドが再生されます。再生中に「CD/AUX」ボタンを押します。
 - ④ 外部機器の音声が再生されます。外部機器を操作して録音を開始するところを決定します。
 - ⑤ 「REC」ボタンを押すと録音が始まります。録音中は表示部に“AUXロクオン”および録音時間が表示されます。
 - ⑥ 録音開始から15秒経過するとブザー音（ピピッ）が鳴り、録音が終了します。録音を途中で終了する場合は、「REC」ボタンを押します。
 - ⑦ 録音終了後、録音内容が1回再生され、録音内容を確認することができます。このとき、表示部に“サイセイチュウ”と表示されます。
 - ⑧ 再生を途中で終了する場合は「Welcome」ボタンを押します。また、「FM/AM」ボタン、「MEMORY」ボタンを押しても終了できます。



アドバイス

- 録音は必ず車を停止させて行ってください。駐車ブレーキがかかっていないと録音することができません。
- 15秒間操作を行わないと録音モードが解除されます。解除された場合は最初から操作を行ってください。
- AUX端子に接続するときは、φ3.5ステレオミニプラグを使用してください。
- 外部機器の操作方法については、お手持ちの外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

●録音内容を工場出荷状態に戻すとき

工場出荷時にあらかじめ6種類のウェルカムサウンドが録音されており、ウェルカムサウンドの録音内容を工場出荷時の内容に戻すことができます。

- ① 運転席ドアを開けます。
- ② エンジンスイッチをAccまたはONにし、オーディオの電源をOFFにします。
- ③ 運転席ドアを閉めます。
- ④ 「Welcome」ボタンを押しながら2秒以内に「選択」ボタンの「1」を押します。
- ⑤ ④の状態のまま、運転席ドアを開けます。2秒間経過するとブザー音（ピッ）が鳴り、表示部に“W/S ショキカシマス”が表示されます。
表示されたら指を離します。
- ⑥ 初期化中は、表示部に“W/S ショキカチュウ”が表示されます。
- ⑦ 工場出荷状態に戻るとブザー音（ピピッ）が鳴り、表示部に“W/S ショキカシマシタ”が3秒間表示されます。


●ウェルカムサウンドの登録曲について

著作物題名	作詞者名	作曲者名
となりのトトロ	宮崎 駿	久石 譲
BAROQUE HOEDOWN// MAIN STREET ELECTRICAL PARADE	PERREY JEAN JACQUES	
	KINGSLEY GERSHON	
世界に一つだけの花	槇原 敬之	
I WANT IT THAT WAY	CARLSSON ANDREAS MICHAEL	
	MAX MARTIN	
HOW DEEP IS YOUR LOVE	GIBB BARRY ALAN	
	GIBB MAURICE ERNEST	
	GIBB ROBIN HUGH	

上記楽曲の使用に関して、JASRAC () より許可を受けています。
(許諾番号：T-0770003)

■メモリチェンジャーを聞く場合

音楽CDを内蔵のメモリに録音することができます。

 **注意**

- 録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本機の故障、誤動作または不具合により録音されなかった録音内容および消失した録音データについては補償できません。
- 修理などのサービス対応時に、録音されたデータが消失することがあります。製品の仕様上、録音されているデータの内容を補償することはできません。あらかじめご了承ください。
- 故障などによりオーディオを交換したときは、録音データは消去されます。

 **アドバイス**

- MP3/WMA などのデジタル圧縮された音楽データは録音できません。音楽CDと一部のCD-R/RW以外のディスクでは録音を受け付けません。
- 本機はSCMS(シリアル コピー マネジメント システム)に対応しているため、音楽CDなどをデジタル録音したメディアなどから録音することはできません。
- 本機はCD6枚分の録音領域を用意しております。それ以上の録音はできません。
- CD1枚分の領域には、最大99曲まで録音できます。
- 録音する曲が1曲でもCD1枚分の領域として処理されます。
- すでに録音されているディスクは録音できません(別のディスク番号に録音することもできません)。
- CD1枚を最長20分程度で録音することができます。
- CD1枚から曲を選択しての録音はできません。
- メモリー録音された音楽データは圧縮されているため、音楽CDより音質が劣化します。

●CDを録音するとき

録音できる音源は、次のようになります。

マイク	外部機器	音楽CD	CD-R/RW
×	×	○	△ (*)

*一部のCD-R/RWは録音できない場合があります。

- ① 録音したいCDを再生します。

☆4-48ページ参照

- ② 「REC」ボタンを2秒以上押します。このときブザー音(ピッ)が鳴ります。また、表示部に「MEMORY REC」が2秒間点滅し、その後「PUSH 1~6」およびすでに録音されているディスク番号が表示されます。
- ③ 表示部に「PUSH 1~6」が表示されている間に「選択」ボタンにより、録音したいディスク番号を選択します。
- ④ ③で録音されていないディスク番号を選択したときは、表示部に録音させるディスク番号および「REC」が点滅し、録音を開始します。③で録音されているディスク番号を選択したときは、表示部に「PUSH REC」と表示され、選択したディスク番号に録音されている曲を15秒間再生します。再生中に「REC」ボタンを押すと、表示部に録音させるディスク番号および「REC」が点滅し、録音を開始します(上書き録音)。再生中、何の操作も行わなければ、録音モードは解除されます。
- ⑤ 録音が終了すると、録音した曲を再生し続けます。このとき表示部のディスク番号は点滅から点灯に変わり、「REC」は消灯します。

 **アドバイス**

- 録音操作中、15秒以上何も操作を行わないと録音設定は解除されます。
- 録音中は記憶されている曲が再生されますが、他のモードをお楽しみいただくこともできます。
 - － ラジオを聞くときは録音中に「FM/AM」ボタンを押してください。
 - － 外部機器の音楽を聞くときはAUX音声入力端子を接続し、「CD/AUX」ボタンを押してください。
 - － 録音中の音楽を聞くときは、「CD/AUX」ボタンまたは「MEMORY」ボタンを押してください。
- 録音中は、下記の操作を行うことができません。
 - － 選曲、早送り、早戻し
 - － リピートプレイ、ランダムプレイ、スキャンプレイ
- 録音中に「DISP」ボタンを押すと、残りの録音時間が5秒間表示されます。
- オーディオの電源をOFFにしても録音は継続されます。録音中にエンジンスイッチをLOCKにした場合、録音が中断されます。再度エンジンスイッチをAccまたはONにすると録音が再開されます。

●録音を中止するとき

録音を中止するには以下の方法があります。

- 「REC」ボタンを2秒以上押し続けます。このときブザー音（ピピッ）が鳴ります。
- 「▲」ボタンを押してCDを排出します。

 **アドバイス**

- 録音が終わった曲は内蔵メモリに記憶されます。
- 録音中の曲は記憶されません。
- 録音中止後再度録音をするとき、表示部に“ツイカロクオン”と表示され、録音されなかった曲から継続録音することができます。CDを排出しても再度同じCDを挿入し録音した場合、継続録音することができます。

●録音したデータを消去するとき

録音したデータを全て消去することができます。

- ① 運転席ドアを開けます。
- ② エンジンスイッチをAccまたはONにし、オーディオの電源をOFFにします。
- ③ 運転席ドアを閉めます。
- ④ 「MEMORY」ボタンを押しながら「選択」ボタンの「1」を押します。
- ⑤ ④の状態のまま運転席ドアを開けます。
2秒間経過するとブザー音（ピッ）が鳴り、表示部に“MEMORY ショキカシマス”が表示されます。
- ⑥ 初期化中は表示部に“MEMORY ショキカチュウ”が表示されます。
- ⑦ 消去が終了すると、ブザー音（ピピッ）が鳴り、表示部に“MEMORY ショキカシマシタ”と3秒間表示され、オーディオの電源がOFFになります。



アドバイス

- 録音したデータの消去は一括消去のみ行うことができます。
- 録音したディスクごとや選曲した曲だけなどの消去はできません。

●演奏するとき

- 内蔵メモリに録音されていないとき
4-58ページの「CDを録音するとき」の要領で録音します。
- 内蔵メモリに録音されているとき
「MEMORY」ボタンを押すと演奏を開始します。

●ディスクを選択して演奏するとき

「選択」ボタンを押して演奏したいディスクを選択します。



アドバイス

録音されていないディスクを選択しても演奏されません。

●演奏を停止するとき

オーディオの電源をOFFにするか、他のモードに切り替えます。

●選曲するとき

「TUNE/TRACK」ダイヤルを回します。

- 先の曲にするとき
「TUNE/TRACK」ダイヤルを右に回します。回すごとに先の曲を頭出しします。
- 手前の曲にするとき
「TUNE/TRACK」ダイヤルを左に回します。1回目で今聞いている曲の先頭に、回すごとに手前の曲を頭出しします。

●曲の早送り、早戻しをするとき

「SEEK」ボタンの「∧」または「∨」を押します。

● 早送り

「∧」を押し続けると早送りされます。手を離れたところから演奏を始めます。

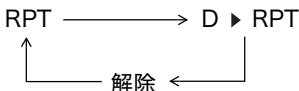
● 早戻し

「∨」を押し続けると早戻しされます。手を離れたところから演奏を始めます。

●同じ曲を繰り返し聞くととき(リピートプレイ)

① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。

押すたびにリピートモードが切り替わり、表示部に表示されます。



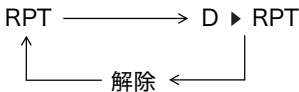
② “RPT” を選択します。演奏中の曲を繰り返し演奏します。

③ 解除するには「RPT」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

●同じディスクを繰り返し聞くととき(ディスクリピートプレイ)

① 曲の演奏中に「RPT」ボタンを押します。

押すたびにリピートモードが切り替わり、表示部に表示されます。



② “D ▶ RPT” を選択します。演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

③ 解除するには「RPT」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

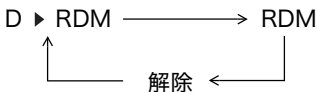
●曲を自動的に選ばせて聞くととき(ランダムプレイ)

● ディスクランダムプレイ

ディスク内の曲を自動的に選曲させます。

① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。

押すたびにランダムモードが切り替わり、表示部に表示されます。



② “D ▶ RDM” を選択します。再生しているディスク内の曲を自動的に選び演奏します。

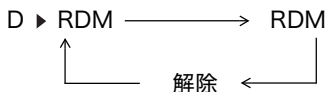
③ 解除するには「RDM」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

● オールランダムプレイ

録音されている全ディスク内の曲を自動的に選曲させます。

① 曲の演奏中に「RDM」ボタンを押します。

押すたびにランダムモードが切り替わり、表示部に表示されます。



② “RDM” を選択します。録音されている全ディスク内の曲を自動的に選び演奏します。

③ 解除するには「RDM」ボタンを押して“解除”に切り替えます。

● 聞きたい曲を探すとき(スキャンプレイ)

曲の最初の10秒間だけを順番に演奏する機能です。

① 「RDM」ボタン(SCANボタン)を2秒以上押します。このときブザー音(ピッ)が鳴ります。

② 表示部のトラック番号(曲番号)が点滅し、スキャンプレイが開始されます。

③ 解除するには、もう一度「RDM」ボタン(SCANボタン)を2秒以上押します。



アドバイス

スキャンプレイは、フォルダ内の曲の演奏が終わると同じフォルダの先頭の曲に戻り、スキャンプレイを続けます。

● タイトルを入力するとき

内蔵メモリのディスクにタイトルを設定することができます。



アドバイス

安全のため、駐車ブレーキをかけたときのみタイトルを入力することができます。また、タイトル入力にはメモリチェンジャーモード時のみ有効です。

① タイトルを設定したいディスクを再生し、「DISP」ボタンを押してディスクタイトル表示にします。

② 「MEMORY」ボタンを2秒以上押します。このときブザー音(ピッ)が鳴ります。

③ 表示部の左桁より入力します。「TUNE/TRACK」ダイヤルを回して文字を選択し、「SEEK」ボタンの「∧」または「∨」を押して入力桁を移動すると入力文字が決定します。入力中の桁は点滅します。

「∧」ボタンを押す：ボタンを押すごとに右の桁に移動します

「∨」ボタンを押す：ボタンを押すごとに左の桁に移動します

🏠 アドバイス

次の操作をするとタイトル入力モードが自動的に解除され、それまでに入力されていた文字のみが記憶されます。

- タイトル入力中に30秒間操作を行わなかったとき
- オーディオの電源またはエンジンスイッチをOFFにしたとき
- 駐車ブレーキを解除したとき
- 「FM/AM」ボタン、「CD/AUX」ボタン、または「DISP」ボタンを押したとき

④ 入力を終了するには入力桁を16桁目(右端の桁)に移動させ、さらに「SEEK」ボタンの「∧」を押すか「MEMORY」ボタンを押します。

🏠 アドバイス

- タイトル入力中は入力が完了するまで入力中のディスクを再生し続けます。
- ディスクの内容が書き換えられると入力してあるタイトルは消去されます。
- 入力可能な文字は、以下の文字になります。
 - ローマ字
 - 数字
 - カタカナ
 - 特殊文字

●タイトル表示させるとき

再生中に「DISP」ボタンを押します。
押すごとに

トラック番号+演奏時間表示 ←————→ ディスクタイトル表示

と切り替わります。ディスクタイトル表示時は表示部に再生中のディスク番号が点滅します。

🏠 アドバイス

- 本機で入力したタイトルが表示されます。
- タイトルは1回に16文字まで表示できます。
- タイトルが記録されていない場合は表示しません。その場合、「NO NAME」と表示します。

■時計

●時計を合わせるとき

「DISP」ボタン*を押しながら「時計調整」ボタンの「2」または「3」を押して、時刻を合わせます。

*時計を合わせるときは「DISP」ボタンが「CLOCK」ボタンとなります。

時 (H) の調整 : 「DISP」ボタンを押しながら「時計調整」ボタンの「2」を押します。

分 (M) の調整 : 「DISP」ボタンを押しながら「時計調整」ボタンの「3」を押します。

- 時報に合わせて時刻を調整するとき

時報と同時に「DISP」ボタンを押しながら「RESET」ボタンを押します。

(例)

11 : 30 ~ 12 : 29 → 12 : 00

12 : 30 ~ 1 : 29 → 1 : 00



アドバイス

バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、表示が「12 : 00」で点滅します。正しい時刻に合わせてください。

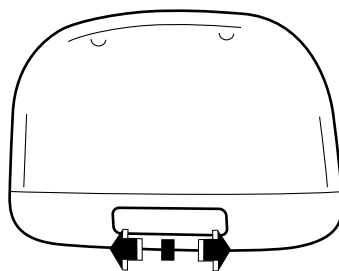
室内装備

室内の照明

■ルームランプ

車内の天井中央にあります。
スイッチの位置により切り替えができます。

- ON : 常に点灯します。
DOOR : リモコンキーもしくは携帯機で解錠
または、ドアを開けると点灯し、閉
めると一定時間点灯後消灯します。
OFF : 常に消灯します。



ON DOOR OFF

400970

●オフディレイ機能

DOOR 位置にしているとき、リモコンキーもしくは携帯機で解錠または、ドアを開けて閉めたときに約30秒間減光点灯し、徐々に消灯します。(オフディレイ機能)

この機能は、スバル販売店にて消灯までの時間を設定できます。詳しくはスバル販売店にご相談ください。

☆1-2ページ参照

●キー抜き連動機能

DOOR位置にしているとき、エンジンスイッチからキーを抜くと約30秒間点灯し、徐々に消灯していきます。

●バッテリー上がり防止機能

半ドアなどでルームランプが点灯し続けた場合、バッテリー上がりを防止するため、約30分後に自動的に消灯します。

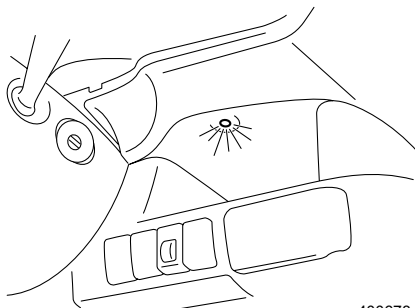
☆2-3ページ参照

■インパネシャワーライト ☼

インストルメントパネル左右のカップホルダーおよびポケット部を照らします。

ライティングスイッチを●または☼にする
と常時点灯します。

☆3-5ページ参照

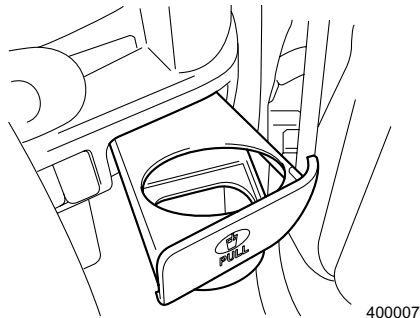
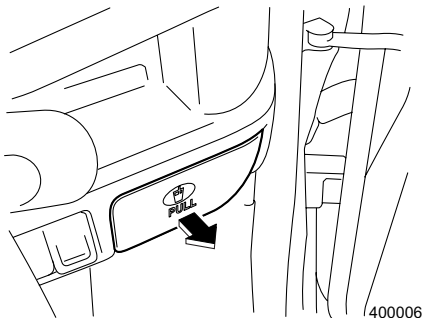


400678

カップホルダー

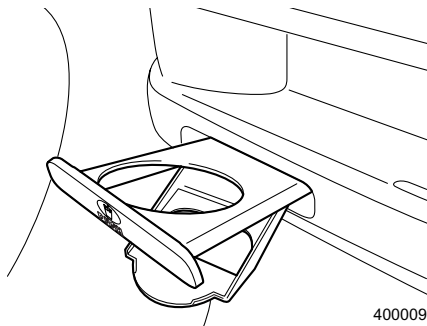
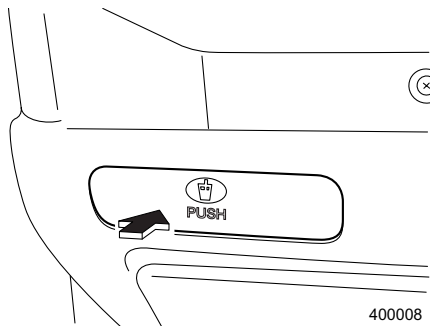
■運転席用

フタを引くとカップホルダーとして使用できます。



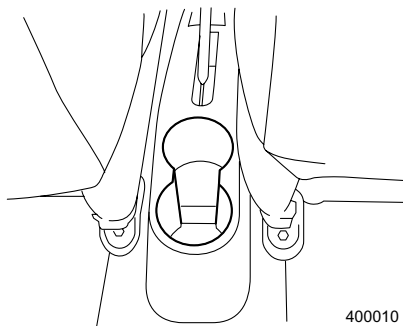
■助手席用

フタを押し、さらに引き出すとカップホルダーとして使用できます。

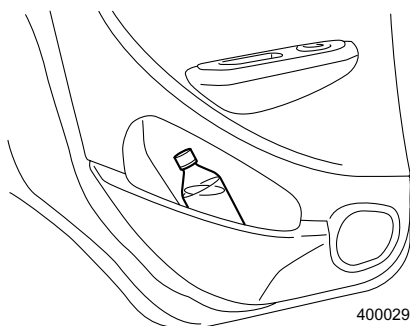


■後席用**●センターコンソール**

センターコンソール後方にカップ、コーヒー缶などを置くことができます。

**●リヤドア **R2****

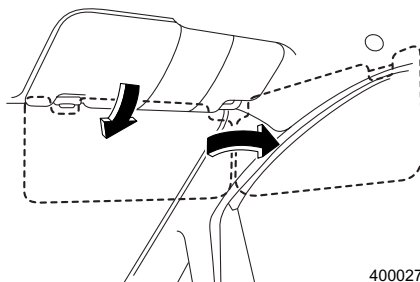
左右のリヤドアに各1つの小物入れ兼用のボトルホルダーがあります。

**⚠ 警告**

- 飲み物の出し入れは信号待ちなどの停車中に行ってください。走行中の使用は思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物などはやけどのおそれがありますのでご注意ください。

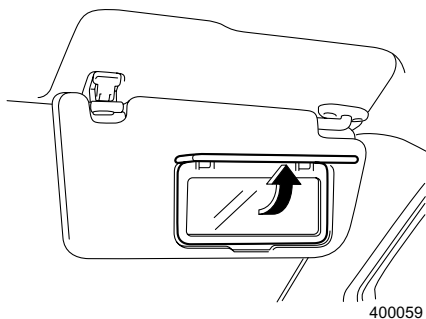
サンバイザー

横に回すときはフックから外して使用します。
運転席側にはチケットホルダーが付いています。



■ バニティミラー

運転席のサンバイザー裏側に鏡がついています。

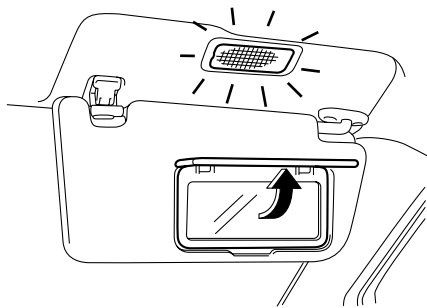


⚠ 注意

走行中は、必ずフタを閉めてください。

■照明付バニティミラー

運転席と助手席のサンバイザー裏側に鏡がついています。フタを開けると照明が点灯します。必要のないときは、必ずフタを閉めてください。



400028

⚠ 注意

走行中は、必ずフタを閉めてください。

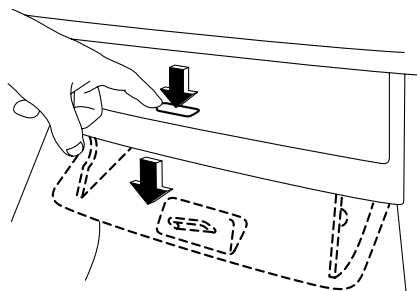
小物入れ

⚠ 注意

走行中は必ず閉めておいてください。
 万一の場合、フタに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをするおそれがあります。
 炎天下での駐車は大変高温になりますので、メガネやライターなどを収納しないでください。

■グローブボックス

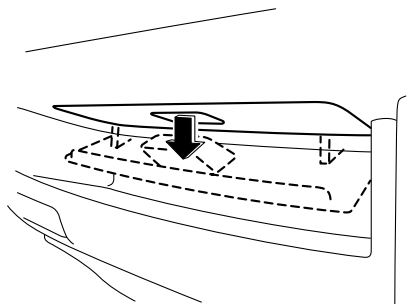
小物や書類を入れるのに使います。棚の中央にあるボタンを押すとフタが開きます。



400005

■車検証入れ

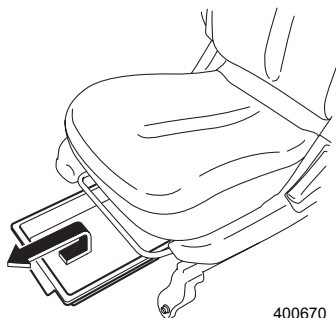
フタを引くと開きます。



400004

■シートアンダートレイ (助手席) **R2**

トレイを一旦押しこみ、少し上に上げてから引き出して使用します。



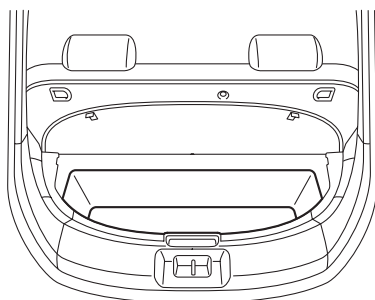
400670

注意

- 走行するときはトレイを一番奥まで確実に戻してください。また、走行中はトレイを引き出さないでください。万一の場合、トレイに体が当たったり、中に入れたものが飛びだして思わぬけがをするおそれがあります。
- 重さが約1kg以上ある物をトレイに入れないでください。急ブレーキをかけたときなどにトレイが飛びだすおそれがあります。

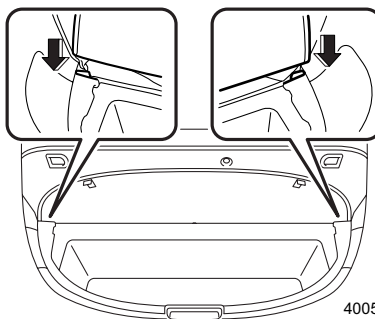
サブトランク **R1**

カーゴルーム床下に小さい荷物を収納することができます。三角停止表示板も収納できます。



400537

また、フタは立てかけて固定することができます。フタの両端を溝に差し込んでください。フタが確実に固定されているか確認してください。

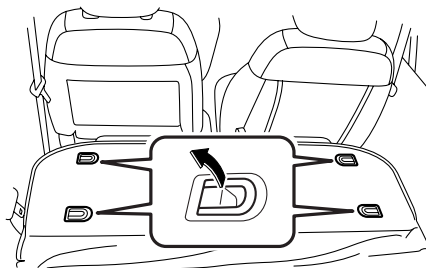


400567

カーゴフック **R1**

リアシート背当てに4か所取り付けられています。

背当てを倒しカーゴルームを広げた場合、カーゴルームネットなどを引っかけるときに使用します。



400540

注意

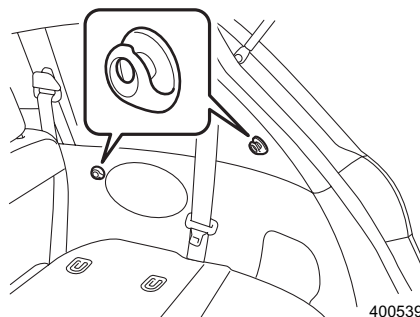
カーゴフックはカーゴルームネットなどに軽量物の固定、引っかけの用途だけに限定してください。

許容引張り荷重	20 kg
---------	-------

買い物フック **R1**

買い物袋などが転がらないようにするときに利用します。

袋の底を床につけ、手提げ部分をフックに巻きつけて利用してください。



400539

注意

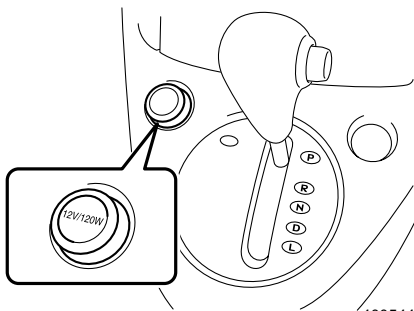
このフックは買い物袋など軽量物の引っかけ用途だけに限定してください。

許容引張り荷重	5 kg
---------	------

電源ソケット ❖

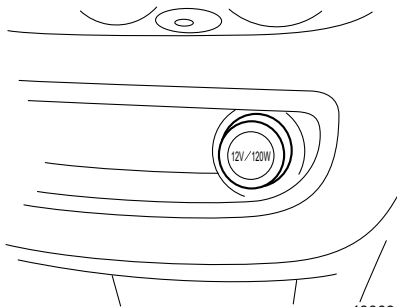
エンジンスイッチがAccまたはONのとき12V直流電流が取り出せます。
自動車用電気製品の電源ソケットとしてご使用ください。

〈i-CVT車〉



400544

〈MT車〉



400031

⚠ 注意

ソケットから電源を取るとき

スバル純正品の使用をお奨めします。また、自動車用電気製品は必ず12V120W以下のものをご使用ください。

- タコ足配線はしないでください。発火することがあります。
- 銀紙、硬貨などの異物を入れないでください。
- 電源ソケットにプラグが合わない（ガタがあったり、きつくて入らない）場合は、接触不良や抜けなくなる原因となります。ソケットに合ったプラグをご使用ください。
- エンジン停止状態またはアイドル状態のまま電気製品を長時間使用すると、バッテリー上がりを起こすことがありますのでご注意ください。また、走行中の使用でも不要になったら切るように心がけてください。

MEMO